

第34回・高知県小学生陸上競技大会

10月8日(日)、春野陸上競技場で「第34回・高知県小学生陸上競技大会」が開催され、県下から32団体・約600人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。黒潮町からも大方JACが参加し、好成績を収めました。



5・6年男子走高跳
3位 中澤虎太郎(入野小学校6年)

記録 1 m 15 cm

絵本の贈呈

10月12日(木)・13日(金)、公益社団法人幡多法人会黒潮支部より、南部保育所と大方くじら保育所に、計70冊の絵本や紙芝居の贈呈がありました。園児達は、早速紙芝居を読み聞かせてもらい、その後、ダンスを披露してお礼を伝えました。



お礼のダンスを踊る園児



贈呈された絵本

拳ノ川小児童ら巨大カボチャを生育

巨大カボチャの大きさなどを競う「がいにビックリたまげた大会・県大会」が9月13日(水)、JA高知はた西土佐支所で開催され、出品した拳ノ川小学校が高知県印賞を受賞しました。

同大会は今年で29回目。幡多地域のみならず、南国市や須崎市から計21組58個のカボチャが並びました。

拳ノ川小学校は平成22年から参加し、今年は3・4年生6人が6個のカボチャを出品しました。6個の総重量は282・9kgで、一番大きなものは50・4kgを記録しました。

地域の方に協力してもらいながら6月に生育を開始し、苗植えや水やりを行ったという児童らは、「こんなに大きくなるなんてびっくり」などと成長過程を振り返り、「来年は100kgを越えたい」と意気込みを語りました。



ドキドキしながら結果を見る児童ら

育てたカボチャは大会後、運動会などで展示されました。

世界の果てのこどもたち

上林暁文学館で特別企画展「世界の果てのこどもたち」～北幡・満州開拓団の記録～が、7月1日(土)～9月24日(日)まで開催され、約1300人の来場がありました。

会場では、開拓団や中国残留孤児の記録、シベリアの留置所収容の様子などの資料や絵の展示、事実をもとに描かれた中脇初枝の小説「世界の果てのこどもたち」の資料も展示されました。

幡多地域では、昭和17年頃から移民が開始され、幡多郡江川崎村からは121世帯、436人が満州へと渡っています。終戦時の混乱の中、移民した方の内、約75%の方が亡くられています。その歴史の記録を、当時の新聞、手記、写真などで伝えていきました。



当時のこどもたちの写真や手記の展示

平成29年度 第2回 黒潮町民ゴルフ大会

土佐ユートピアカントリークラブにて黒潮ゴルフ大会実行委員会主催「第2回黒潮町民ゴルフ大会」が10月7日(土)に開催され、町内外より206人が参加しました。

優勝したのは、岡村司さん、準優勝は坂本学さん、3位は武田好弘さんで、優勝した岡村さんには同クラブの年間パスポートなどが贈呈されました。

大会では、チャリティー活動も行われ、集まったお金で大方くじら保育所と南部保育所に絵本が贈呈されました。

また、小学生のスナッグゴルフ教室も開催され、南郷小学校と上川口小学校の児童計28人が参加しました。子どもたちは、ゴルフが初めての人も多く、戸惑いつつも「なかなか難しいけど楽しい」とゴルフを楽しんだ様子でした。



スナッグゴルフを楽しむ子どもたち